

上田市教育委員会 3 月定例会会議録

1 日 時

令和 4 年 3 月 1 5 日（火） 午後 3 時 0 0 分から午後 4 時 1 5 分まで

2 場 所

上田駅前ビルパレオ 5 階 上田市教育委員会 第 1 会議室

3 出席者

○ 委 員

教 育 長	峯 村 秀 則
教育長職務代理者	北 沢 秀 雄
委 員	綿 谷 憲 一
委 員	森 田 小 百 合
委 員	大 久 保 恵 子

○ 説 明 員

小野沢教育次長、児玉教育参事、山賀教育総務課長、翠川教育施設整備室長、緑川学校教育課長、竜野生涯学習・文化財課長、西嶋人権同和教育政策幹、櫻井スポーツ推進課長、小泉中央公民館長、小坂第一学校給食センター所長、唐澤川西公民館長、浅野上田図書館長、和根崎上田市立博物館長

1 あいさつ

本年度、最後の定例会となった。本日は令和3年度の（期末）と令和4年度（当初）の重点目標を大変重要な協議事項を行っていく。なるべく能率的に進めたいと思うのでお願いしたい。

2 協議事項

(1) 令和3年度（期末）及び令和4年度（当初）の重点目標及び教育行政評価について （教育総務課）

令和3年度 重点目標「上田市教育支援プラン」の推進

○資料1-1（1ページ）、資料1-2（1、2、3、4、5ページ）

峯村教育長

ご提案だが、このように進めさせていただきたいと思う。まず、お手元にある資料1-1「令和3年度（期末）重点目標」と資料1-2「令和3年度令和上田市教育行政に係る事務の点検及び評価（案）」を同時に進めさせていただきたいと思う。カテゴリーが5つあり、「上田市教育支援プラン」の推進は5項目ある。その項目をまず一括りとして、点検及び評価とその重点目標について、教育員の皆さんからご意見をいただきたいと思うがいかがだろうか。時間の関係で資料をご覧いただいているので説明は省かせていただく。それでは今ご提案させていただいたように進めさせていただきたいと思う。

北沢委員

最初に評価基準について確認しておきたい。例えば、資料1-2の事業評価シート【自己評価】でA、B等があるが、Bの「目標どおり成果があった」という評価は、100%の成果のことをいっているのか、それとも80%の成果でも目標どおりの成果があったと捉えているのか。

峯村教育長

では、評価基準について山賀課長お願いしたい。

山賀教育総務課長

数値でいうところだが、Bの目標通りの成果があった。ということなので100%予定どおりに進んだということがBの目安かと思っている。それよりもプラスαがあつて効果があったことがAだと思っている。

北沢委員

そうなると矛盾が出てくる。

山賀教育総務課長

今申し上げたBが100%と言っても、例えば、説明の中にも出てくるが、計画をしても、やむを得ずどうしてもできなかった部分もあつたりするので、90~100%がBではないかと思っている。そのつもりで事務局の方では例年付けさせていただいている。

北沢委員

例えば、生涯学習・文化財課の文化財の指定で、目標は2件であったが実際は1件であった。2件に対して1件なのにB評価の「目標身通りの成果があった」であるため、基準をお聞きした。そのようなところがたくさんある。全体的にほとんどの項目で「目標通り達成できた」ということが疑問である。ゆえに評価基準を明らかにしたいと申し上げた。

峯村教育長

では、会議を進める前に先ほどの山賀課長の説明で良しとして進めさせていただいてもよろしいか。

北沢委員

了承。

峯村教育長

100%と言うと、かなり厳しいと思う。コロナ禍の中であって、行いたいけれど行うことができなかったこともあるので、そのあたりも加味していただければありがたい。

それでは、A3の1ページと点検及び評価の1ページから5ページの中でご意見等をいただきたいと思う。

北沢委員

事業名「確かな学力の育成（支援策Ⅰ）」の評価は、当初の文章表記目標について、自己評価がBで妥当かと思う。ただ、内容を精査していくと、第3期の教育支援プランではきちんと数値目標が載っている。例えば、学力に関しても全国学力状況調査では令和7年度までには「全ての結果が全国平均を上回る」としていて、こちらについて全く上回っていないのに、この事業評価シートだけ見ればBということは関連性がない。事業評価シートの自己評価はBでよいが、本当に分かる授業につながる授業改善ということでは、数字から見ると本当にBでよいのか疑問。評価がこの1年単位ということもあるが、第3期の教育支援プランの内容に照らし考えていくべきである。中長期のプランの中の一年というように意識するべき。これは教育の継続性から見定めるものと思っている。そのような視点が大事だと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

大久保委員

③の(1)①相談体制の整備による支援の強化のところ、教育相談所による学校訪問を全校に実施と記されているが、こちらは今年度訪問校を増やしたということだが、人員等は足りていたのか。また、項目の課題のところを見たがあまりそのようなことが記されていなかったの
でいかがか。

緑川学校教育課長

全校訪問する中での課題でよろしいか。

大久保委員

はい。

緑川学校教育課長

教育相談所も以前は不登校担当の指導主事がいて、3年前に特別支援担当の先生も一緒になって教育支援センター的な考えで学校訪問をしていた。昨年、一昨年は、特別支援と教育相談所の職員、いわゆる不登校支援の先生と一緒にいった。今年からは、教育支援だけで別々に訪問をしていたと思う。やはり、観点が被る部分と被らない部分が当然あるので、より専門的に学校に入った方が今後の支援のあり方等、いろいろな部分が有効ではないかということであえてバラバラにしている。そういった中で、いろいろな学校体制という部分の中で、早期発見早期対応にうまく対応している学校と、もう少し早く取りかかった方がよい学校があるということは聞いている。早期発見の部分の中で何か起こったときではなくて、例えば、1日、2日休んだだけでもどうするんだという部分を取り上げて、スクリーニング会議を開いて重点を置いて行っている学校もある。そういった部分には、スクールソーシャルワーカーを早期に派遣して行うという取組をしている。比較的早く対応ができていないかと言われているが、課題としては教育総合会議で皆さんに議論していただいたとおり、不登校の児童生徒というのが増えているので、もう1つ何か策を講じなければいけないのではないかな。これだけの話だけではなく全体的では考えている。

大久保委員

やはり、年々この方がよいのではないかといろいろと対応を考えていただいていると思う。どんどん活かしていただいて、少しでも早期発見等に取り組んでいただき、また人員配置についてもお願いしたいと思う。

緑川学校教育課長

了承。

森田委員

資料1-2の①、②、⑤のことでお聞きしたい。①の今後の課題のところ、(1)経験豊かな教員や同世代の教員と記載されているが、あえてそのような表現をする必要はないと思う。このような表現だと例えば、ベテランの教員と若手の教員等そのようなイメージがある。このような表現であえて差別化した表現をしなくても、全ての教員が同じ立場となって自由活発な議論ができる場作りができるような表現にしてもよいのではないかなと思う。②については、上田GIGAスクールサイトのweb上で開催される会議については、令和4年度の方針に組込んでいただきたいのだが、サイト上であっても一方での掲載ではなくて、そのサイトを通じての双方向の交流が可能で、開かれたサイトを目指す。というようなものを付け加えていただくの

がよろしいかと思う。⑤については、評価シートの4今後の課題等の最後のところで「容易なことではありません。」と記されているが、こちらは感想であり課題の表現ではないと思う。

「負担であるとともに、行政としても学校の統合に対し意見や合意を得ること」が課題なので、「容易なことではありません。」を修正いただければと思う。

山賀教育総務課長

了承。

綿谷委員

①の確かな学力の育成について、事業の必要性、具体的な取組み、評価と課題、それに対して、教員同士の研究、そのようなところが主体となっていて、実際にいきいきと目を輝かせて「わかる・できる」ようになったのか、一体どれくらい増えたのか。すぐには出ないと思うが、結果的にはそこへつながっていかないと評価は出ないのではないかというように思う。そのようになるよう回転をする活動のことを言っているのか、そのような子どもたちが増えてきたというところがあると思う。少し前置きに「わかる・できる」というところの回転をしていかななくてはいけないと思う。そのようなところが増えているのであれば課題だとは思う。

峯村教育長

それでは1つ目の括り、上田市教育支援プランの推進はよろしいか。

○全員了承

峯村教育長

今、委員さんのご発言を聞いて、より客観性の高い評価というものについて、非常にどのようになればよいのか。数値で設定すれば達成できたかどうかは数値で表せばよいが、綿谷委員のおっしゃったことも、子どもたちの表情やそのようなところに評価の観点を置いてしまうと難しいところである。また今後、検討をしていきたいと思う。

では、A3の資料1ページ目はよろしいか。

全員了承

重点目標 安心安全な教育環境の整備

○資料1-1（2ページ）、資料1-2（6、7、8ページ）

峯村教育長

それでは、次の重点目標 安心安全な教育環境の整備について、資料1-1では2ページ、事業評価シートでは6ページから8ページまでこの内容について意見等をお出しいただきたい。

大久保委員

②の小中学校トイレ改修事業についてだが、和式のトイレを全て洋式のトイレにしたのか。

翠川教育施設整備室長

小中学校のトイレ改修工事ということで、②に挙げさせていただいた。こちらは、令和2年度の国の3次補正で採択を受け、繰越事業で実施をしてきたことである。ここに挙げている小学校4校（北小、川辺小、神川小、丸子中央小）、中学校は1校（第六中）ということで、この学校全てのトイレができたというわけではなく、一番大勢の人が使う頻度が高く、なおかつ老朽化が進んでいるところを選ばせていただき実施をしたというものである。

大久保委員

では、学校の中で全て和式が無くなったというわけではないのか。

翠川教育施設整備室長

国の補正を使って、トイレの洋式化、床のドライ化、内装の改修も含めて始めたというところだが、現在の洋式化率は全体の50何パーセントというような状況である。全体の目標としては、少なくとも全体の60%までに上げていきたいという目標で動き出したところである。

大久保委員

全体の先生から聞いた話だが、今、膝を痛めている人は洋式の生活をしているのが原因、筋力が落ちることがあるらしく、今の子どもたちが和式のトイレに入らないことは、股関節の柔軟性や膝の柔軟性についてとても問題だとおっしゃっている方がいる。学校のトイレを洋式にすることはよいと思うが、和式トイレに入るチャンスがなくなってしまうので、和式を全て無くすということはできれば避けていただきたい。

重点目標 文化遺産の保存・継承・活用

○資料1-1（3ページ）、資料1-2（9、10、11、12ページ）

峯村教育長

それでは、次の重点目標 文化遺産の保存・継承・活用について、資料1-1では3ページ、事業評価シートでは9ページから12ページまでの内容について意見等をお出しいただきたい。

大久保委員

全体を読んだ感想となってしまうが、保存や補修だけでなく調査に対する理解を深めるところで、行事、イベント等を企画していただいたことが今年はよかったのではないかと思う。コロナ禍の中でなかなか進められなかったこともあったと思うが、いろいろと企画をしていただいたことがよかったと思うので、今後もお願いしたいと思う。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

よろしいか。

全員了承

重点目標 生涯学習の推進と学習環境の整備

○資料1-1（4ページ）、資料1-2（13、14、15、16、17、18ページ）

峯村教育長

意見等をお出しいただきたい。

大久保委員

コミュニティスクールの取組について、学校支援ボランティアの方と地域ボランティアの方と学校がどれだけ連携して学校運営をしてきているのか。学校とその地域の方とのつながりというものが若干薄くなってきているのではないかと思う。コミュニティスクールを進めていくにあたり、つながりがもっと希薄にならずに濃いものになるように進めていただきたいと思う。

竜野生涯学習・文化財課長

学校運営の関係でいくと、コミュニティスクールはいわゆる学校の中の学校運営協議会のことであり、地域の方で学校支援という部分で学校側からの、地域からという形で、委員さんがおっしゃられたように、学校支援側の地域の方の動きだが非常にコロナ禍の中で学校へ入れないことが一番モチベーションとして下がってしまっている。また人づくりとして継承していく育っていくというところでは、やはり実践が一番であり、また子どもたちの反応がボランティアの皆さんのエネルギーになっている。それがなかなかやりとりできないことが難しいところである。そういったところがコーディネーターという方の力が試されるということで、公民館、地域の方のコーディネーターの情報を作っていくというようなことが私たちの役目となっている。今後、研修などで力をつけていきたいと考えている。

森田委員

②(1)の地域ぐるみで学校を支えていく「仕組み作り」の推進は非常に重要な課題であり、力強く推進していかなければならないと思うが、子どもを支える地域というものと同時に、子どもたちも地域を支える、つまり、子ども自身が地域の役割を果たすというような位置づけも一緒に組んでいく必要があるのではないかと思う。それを含めて地域ぐるみで学校を支えていく仕組み作りというような考え方を導入してはいかがかと思う。子どもを支える学校を支える地域とあるが、子ども自身も地域の構成員の1人である。そこで、「地域の役割を担っていく立場である」ということも一緒に含めた地域づくりということが非常に重要であると考えている。つまり、キャリア共生、キャリア教育ということがその中で醸成されていくことがあるので、そのような概念を1つ踏まえたプランを検討していただきたい。もう1つ、⑥の図書館サービスの充実では、現在では図書館のあり方ということが非常に見直しされている状況かと思うが、

図書資料を閲覧することや、それを利用して読むこと提供だけではなくて、図書館のあり方を考えるには以前の会議の中でもお話したと思うが、図書館が学びの交流の拠点になり得るということ。図書館は、読書や学習の持っているクリエイティブな創作活動ができる場としてある、というようなことを図書館の位置づけとして捉えることがあると思う。そのあたりも課題の中に組み込まれてもよいのではないかと思う。

峯村教育長

今、森田委員からいただいたご意見はご要望ということでよろしいか。

森田委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

全員了承

重点目標 生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備

○資料1-1（5ページ）、資料1-2（19、20、21ページ）

峯村教育長

次の重点目標、生涯スポーツ活動の推進とスポーツ環境の整備について、ご意見等をお出しいただきたい。

大久保委員

①の生涯スポーツ活動の振興のところで、スポーツに参加する環境作りということはなかなか目に見えないことなので難しいと思う。参加人口を増やすということに関して言えば、上田市はどれだけスポーツを頑張っていることを市民の方に目に見えるように伝えることがよいと思っているが、そういったところはコロナ禍でなかなか大会等はすぐに動けないことがある。では、今、何か良い案があるのかというと、小学校対抗ドッジボール大会ぐらいしか思い浮かばないが、そういった振興という部分で、今はコロナ禍であるので難しいと思うが、参加人口を増やすというソフト面のスポーツ振興、そういった検討をしていただきたいと思う。

峯村教育長

ご要望ということでよろしか。

大久保委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

北沢委員

先ほど申しあげた評価のA B C Dについては、Dの「全ての目標が未達成であった」このD項目は評価に入れてよいのか。Dというような仕事はあるのか。A B C Dの評価の内容を検討していただきたい。そうでなければ、基準が曖昧なため、なかなか意見を言えない。2点目は、事業を「計画、実施、評価、展開」とP D C Aで行っているサイクルはよいと思う。ただ、第3期の上田市教育支援プランの令和3年度から7年度のことをきちんと意識して作っているのかどうか。やはり中長期の事業の視点を大事にしていきたい。3点目は、これから行う令和4年度の重点目標で、「今後の課題等と対応方針等」を十分に意識したものを作っていただきたい。要するに「課題はありました、対応方針はこうです」と記しておきながら、そことが次の年度と連動していない。きちんと反省したものを次の年度に活かす、という作業をきちんと行っていきたい。

峯村教育長

今のご意見はとても重要な点だと思う。そのようなご意見と今まで委員の皆さんから出していただいた提案、意見を加味して令和4年度の重点目標の方に記していただきたい。

令和4年度 重点目標「上田市教育支援プラン」の推進

峯村教育長

令和3年度、4年度の重点目標はところどころ変わっているところがある。その点については各課長から変更があったところの説明をお願いしたい。

○資料1-3（1ページ①②③）により緑川学校教育課長説明（要旨）

1ページのところでは、学校教育課の関係で①②は前年度の①②③になったものを2つにまとめたような形になって継続して行っていきたいものである。③は新規となり、豊かな心と健やかな身体の育成ということで、(1)毎日朝食を食べる児童の増加の割合を目指して①給食便り等の家庭への周知、また、①児童生徒への「食に関する実態調査」の実施として、健康状態の実態分析をして、経年分析及び課題設定をしていきたいと考えている。

峯村教育長

次に山賀教育総務課長、説明をお願いしたい。

○資料1-3（1ページ④⑤）により山賀教育総務課長説明（要旨）

④だが昨年度に続き、学校給食施設の計画的な整備として2点を記した。昨年度との変更点は、昨年度は(3)ということで、令和2年度末に策定した食物アレルギーの基本方針のマニュアルの周知という項目があったが、1年経過をしたのでそれは削除して(2)に食物アレルギー対

応の検討及び関係者への周知ということでまとめた。⑤については、継続事項としてあり方の基本方針を検討して周知していくことを目標に掲げている。

峯村教育長

では、1 ページのところでご意見等があればお出しいただきたい。

北沢委員

①のところ、(2)MIMの活用による「読み」の向上について、こちらについて以前も発言したと思うが、こちらは(1)の「わかる・できる授業改善」の中に含めてよいと言っているが、(1)(3)と並べて記してあるその理由を教えてください。

緑川学校教育課長

ここ数年で読みに困難がある低学年のお子さんたちが多くいると分かってきている。

北沢委員

困難ということは学力のことか。

緑川学校教育課長

はい。全体的には確かな学力の育成という中の項目の中でいくつか分けていて、その中でMIMを加配している。

北沢委員

(1)の中になぜ含めないのか。(1)の①の下に②としてMIMの活用によると記してはいけないのか。

緑川学校教育課長

特別に出しているということである。

北沢委員

どうして取り出す必要があるのか。

緑川学校教育課長

重点的に行っていきたいということで、MIMという言葉を使いながら出していきたいということを出している。そのような部分でいくなら、(1)「わかる」のところの②という形で入れさせていただくような形でよろしいか。

北沢委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

大久保委員

③のところの給食の重要性は本当に大事だと思っている。給食便りやいろいろな面から朝の食事をとることが大事であること、広い範囲でいろいろなメリットがあるということを知っていただきたいと思う。

峯村教育長

ご要望ということで。

大久保委員

了承。

北沢委員

②の数値目標のところの(2)①ユニバーサルデザイン化の視点を生かした取組の推進の「授業」という言葉が抜けているが、わざわざ抜いて授業以外のこと全てのことを言っているのか、たまたま授業という言葉が抜けているのか。左側の欄には①授業のユニバーサルデザイン化の推進から比べれば授業は入ってもよいのでは。ないということは学校生活全てのユニバーサルデザイン化という意味で捉えるのか。

緑川学校教育課長

全体的な部分の視覚的分野そのようなところを含めた全体的なという意味である。

北沢委員

了承。

綿谷委員

①(3)の①ICTを活用した効果的な授業の推進では数値目標として記載はあるが、なかなか進んでいかないのかという現状だと思う。ICTを活用した効率的な授業をどのようにして進めたらよいのか話し合いが1年間続いていて、具体的にICTを使った授業は増えたのか。長期的にコロナ禍が続きそうで、ICT活用をコロナで休校、学級閉鎖になっている対応は、ICT化はよほど強力で進んでいかなくてはいけないと思う。もっと強い推進を求めたいというように思う。

峯村教育長

ご要望としてでよいか。

綿谷委員

了承。あと、実際に休んだ方にオンラインを使った授業はできるのか。

緑川学校教育課長

例えば、学級閉鎖しているような学校では、先生が授業をできるような状況であればライブ配信で授業を行っている。学級閉鎖をしていなくても家族、兄弟の関係で濃厚接触者となって出席停止になっているお子さんについては、例えば、学校の2年3組などそのクラスの授業をライブで映してその授業へ参加するというような仕組み等を取組んでいるところである。

綿谷委員

では見ることはできるのか。

緑川学校教育課長

W i - F i 環境などもあるが、できる範囲で今、タブレットの持ち帰りも行っていて、授業を進めているところである。

綿谷委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

森田委員

ここには掲げられていないが、教育支援プランの中で掲げている「未来を切り拓く力を養う」とあるが、その力というものが大きく課題になっていると思う。今、子どもたちの自己肯定感が非常に低いということについて取組む項目が1つも組込まれていないことに偏りを感じる。それは、まず自分自身を愛するという必要があると思うが、そのようなことが教育の項目で言うところのキャリア教育というところになると思う。このキャリア教育の項目の1つとして、検討していただきたいと思う。

峯村教育長

自己肯定感というものはキャリア教育だけとは限らない。道徳やほかの学校生活の全般でも養っていかなければいけない内容である。このあたりは検討させていただくことでよろしいか。

森田委員

少し持論になるかもしれないが、先ほどの地域の中の子ども自身が地域1人の構成員ということも1つのキャリア教育だと思うので、自分自身の位置付け、そのようなことが自己肯定につながっていくと思う。そのような視点に立った取組項目も希望である。

峯村教育長

検討させていただくということでよろしいか。

森田委員

了承。

峯村教育長

それでは2ページ目に入る。

令和4年度 重点目標 安心・安全な教育環境の整備

○資料1-3（2ページ①②③）により翠川教育施設整備室長説明（要旨）

昨年の4月当初というところだが、まず①の第5中学校改築事業（国庫補助事業）については進捗に応じた内容となっている。②のLDE化事業ということで掲げているが、LDE化改修事業は終わったわけではないが、こちらの方が令和3年度の国の補正に乗ったということで2番目の方に挙げさせていただいた。③の学校施設の適正な営繕の関係は例年どおりである。

峯村教育長

ただ今の説明についてご意見、ご質問のある方はお出しいただきたい。
よろしいか。

○全員了承

令和4年度 重点目標 文化遺産の保存・継承・活用

○資料1-3（3ページ①②④）により竜野生涯学習・文化財課長説明（要旨）

①の「上田市文化財保存計画活用地域計画」の策定に向けた取組について、文化庁の認定は目的ではなくて、文化財を活かしていくことを住民の皆さんに周知し、共に力を入れていきたいことが現状である。②の関係については引き続き令和3年に5件調査を行った。採択は1件であったが、この残り4件のうち少なくとも2件は登録を目指したいところである。③については、のちほどご説明を和根崎博物館長からさせていただく。④については引き続き取組んでまいりたい。

○資料1-3（3ページ③）により和根崎上田市立博物館長説明（要旨）

③上田城跡の整備事業について、令和5年度から着手を見込んでいる旧市民会館の解体工事に向けて具体的に動きを進めていきたいことで、これまで史跡上田城跡整備に向けた検討という大きな目標であったものを具体的な目標に(1)から(3)まで出させていただいた。その点を来年度の取組目標として頑張っていきたいところである。

峯村教育長

それでは、3ページ目についてご意見等ある方お出しいただきたい。

北沢委員

今の③の上田城跡公園の整備だが、(3)の櫓の目に見える復元はいつできるのか。10億円の寄付をいただいている中で、いつできるのかは市民の関心の高いところといえる。それに向けての工程表はあるのか。例えば、給食センター等にしてもそのようなものがあつた。工程表がないと、見通しが見つからないと思うがいかがか。

和根崎上田市立博物館長

工程表、特に櫓については令和8年度を目途にということでも内部的にスケジュール間としては進んでいる。何分、文化庁の許可を得なければいけないというハードルを超えるタイミングがある。先生方のお話をお聞きしていると最低でも文化庁の許可を得て3年と言われている。そのあたり、今のところ令和8年ということでも取組んでいるところであるが、若干そのあたりは見直しが必要かと思う。随時こちらの教育委員会の方とも調整させていただきながら、今後進めさせていただきたいと思うのでご理解をいただきたい。

小野沢教育次長

和根崎館長から説明があつたが、市長選のあと本格的にそういった方向へ向けて動き出す。現時点でまだ確定ではないが、協議会のときに委員の皆さまには情報提供させていただきたいと考えている。

北沢委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

大久保委員

特記事項のところに、市民参加・協働の推進、市民満足度の向上を考慮と記されているが、やはり、市民の方にも関心をもっていただいていると進めていただきたいと思うのでその方向でお願いしたい。

そのほか、第5中学校の改築事業に記されていた解体設計（アスベスト含有調査）は、単純に素人が聞くと怖いというイメージがある。この調査結果については、どのように安心安全に解体工事は進めていくのか、ということをきちんと説明をして進めていただきたいと思う。

峯村教育長

ご要望ということでよろしいか。

大久保委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

○全員了承

令和4年度 重点目標 生涯学習の推進と学習環境の整備

○資料1-3（4ページ①②④）により竜野生涯学習・文化財課長説明（要旨）

①については引続き行っていくが、上田自由大学運動の関係では来年度全国から学者の皆さんが集まる予定があり、そういったところと連携をし、顕彰をともにしていきたいと思う。

②については先ほど市民参加のご指摘があったように、ボランティアの人材育成ということでコーディネーターの育成やボランティア活動条項ということで、現在読み聞かせ団体の紹介パンフレットを作って、そういったものを活用していきたいと思っている。④については青少年育成ということで、引き続き体験活動等に力を入れていきたいと考えている。

○資料1-3（4ページ③）により西嶋人権同和教育政策幹説明（要旨）

令和4年度は、令和3年度の3項目から2項目に統一をしている。内容としては、令和3年度の学校地域の連携した教育やその学び方について研究した内容を、令和4年度は(1)に取り入れて推進していきたいと考えている。

峯村教育長

4ページ目のこれまでについてご意見等お願いしたい。

北沢委員

活動や取組がコロナ禍であって大変だったと思う。よく工夫して行っていただいたと私は思っている。こちらの数値目標は数字ではなくても文書で記載されている部分もあるが、今年度同様に、市民の皆さんが参加する事業がほとんどなので、創意工夫した活動を行っていただければと思う。

峯村教育長

小泉中央公民館長、⑤について何か変更点はあるか。

○資料1-3（4ページ⑤）により小泉中央公民館長説明（要旨）

昨年に続いて、⑤(1)から(3)については継続性が求められる項目なので引き続き行っていききたいところである。特に(1)については、令和3年度においてハード、ソフト面で充実をはかってきたところで、いよいよ実践編ということで進めていきたいと考えている。

○資料1-3（4ページ⑥）により浅野上田市立図書館長説明（要旨）

⑥図書館サービスの充実だが(1)(2)を新たな目標として掲げている。(1)電子図書館サービス導入の検討は、県と市町村が協働して電子図書館を作るということで、参加の運用方法を決定

していきたいということである。12月の市議会一般質問でも質問があり、その関係で定例教育委員会でも若干ご説明を申し上げたが、県内全ての市町村が参加して電子図書館を設置していきこうということで準備を進めている。その中で運用方法の決定ということは、市町村においても利用者登録管理や選書の事務や広報、あるいは利用者さんの問い合わせ等、さまざまな事務が出てくることから、そういったことについても準備をしていきたい。そのほか、負担金についても年間今のところ50万円程の試算だが発生してくる。こういったことも含めて基本的には参加をしていきたいということで検討を進めているところである。

(2)の中高生向けサービスの充実については、図書館利用が減少する中高生を対象としたサービスを充実させていきたいということで、令和2年度策定した子ども読書活動推進計画の取組として行っていきたいということである。

峯村教育長

4ページ目の⑤と⑥についてお出しいただきたい。

北沢委員

図書館の中高生の利用の件だが、この記し方だと図書館利用が減少するというのは、単なる中学生高校生の意識が離れているというように捉えているのか。コロナ禍で図書館が使えなかった時期があったから減少しているのか、そこが分からない。

浅野上田市立図書館長

実態として数字的に見たところ、例えば、図書館のカードを使って本を借りていただいているが、その利用がどのくらいあるのかと統計をとると、0歳から18歳からでは16.5%、19歳以上の方が83.5%ということで、その中で13歳から18歳までのカードを使っている方が3.4%だけだと全体の比率の中でもかなり少ないということである。この利用をなるべく伸ばしていきたいということで今年はこのような目標を立てたということである。

北沢委員

そのようなデータを持っていると説得力がある。

峯村教育長

それでは、4ページ目はよろしいか。

○全員了承

令和4年度 重点目標「上田市教育支援プラン」の推進

○資料1-3（5ページ①②③）により櫻井スポーツ推進課長説明（要旨）

①②③と3本立ての項目に変更はないが、①の主にソフト事業の部分で2つに項目が分かれていたものを生涯スポーツの振興、スポーツの地域づくりと交流拡大ということでひとまとめにした。

②の施設整備計画に基づく施設整備の推進の中で新たな項目として、先月もお諮りをした(4)スケート場のあり方に関する検討、議会への陳情を踏まえたスケートボード場など、新しい施設整備ニーズへの対応という項目を追加している。③の新たな項目として、国民スポーツ大会を見据えた環境づくりということで、令和4年度に会場予定地の中央競技団体の視察がある。これまでも県が中心となって準備を主に進めてきたが、いろいろ市町村にもこういった準備作業が実際に入ってくるということで、今年度から国民スポーツ大会ということで項目立てをした。

峯村教育長

ご意見をお願いしたい。

北沢委員

②の老朽化したスケート場のあとに、スケートボード場ができるという部分だが、(3)と(4)は全く別のこととして考えた方がよいのか。

櫻井スポーツ推進課長

こちらは全く関連性のない別のこととして、場所も別の場所として検討している。

北沢委員

了承。

峯村教育長

いろいろなご意見をいただき、変更できる点はしっかりと行っていきたいと思う。なお、点検及び評価については、今後評価項目についても検討をしなければいけない。この教育委員会の定例会でご審議いただいた内容と事務の点検及び評価懇話会との関係について、山賀課長のお考えをお聞きしたい。

山賀教育総務課長

今、教育長からお話があった行政評価だが、ご承知のとおり、法律において教育委員会の取組んでいる業務について、第三者の評価を受けてそれを公表しなければならないということが決まっている。私どもは日頃、毎月このようにして皆さんに事業事務についてご意見をいただいているわけだが、教育行政についてはさらに、それを含めた全体を第三者により評価を受けなさいということになっている。それに基づいて毎年このようにしたものを作成しているわけである。教育委員会はどうしても年度当初は動けないので、例年7月頃に行政評価懇話会を開催して有識者の皆さんにお願いをして見ていただいているが、今日いただいた意見を反映させていただいたものを評価の案として行政評価の委員さんに見ていただいたあと、この一番下に委員の意見という一覧が加わるわけだが、その段階でまた教育委員さんの方にもお諮りをしてというように考えている。今日いただいた評価の観点、A B C Dという評価については、この制度が発足したときからそのような仕組みでしてきたが、今日ご意見を頂戴したので今後どのように反映させていくかということ、少し検討させていただきたいというように考えている。

峯村教育長

また検討をさせていただきたい。

(2) 「学校における働き方改革推進のための基本方針」について（学校教育課・教育総務課）

○資料2により緑川学校教育課長説明（要旨）

資料2をご覧ください。この基本方針には、別紙として庁開年度の結果と来年度の目標と学校閉庁日の記載が毎年度更新する必要がある。

(1) 令和3年度結果

①教員の時間外勤務が、年間を通して平均月45時間以下の学校が結果として15校ということで目標には達成されなかった。②教育委員会主催の会議・研修会の精選と効率化については、少し会議の回数が増えてしまったということと、③教育委員会から各所調査の精選と簡素化についてはほぼ達成できたと考えている。

(1) 令和4年度目標

①として、月45時間以下を全校目指すということと、②と③については、今年度と同様に会議と調査について現状維持もしくは削減を目指してまいりたいと考えている。

(2) 学校閉庁日

令和4年度については、8月10日から16日までの7日間としたいと考えている。

峯村教育長

コロナ禍であり、学級閉鎖等で児童生徒への対応等で時間外勤務が増えてしまう見込みもあるわけだが、その点のご理解をお願いしたい。

基本方針だがいかがだろうか。

よろしいか。

では、この方針に沿って進めてまいりたいと思う。

○全員了承

(3) 学校評議員の廃止について（学校教育課）

○資料3-1により緑川学校教育課長説明（要旨）

(1) 学校評議員廃止の要件

学校評議員の廃止については今年度8校が廃止された。来年度については1校が学校評議員廃止の要件を満たし、廃止1校の申請書の提出があったので教育委員会の承認を得たいというものである。

(2) 学校評議員廃止希望校

今年度廃止をしたいというものは第六中学校になる。

峯村教育長

ご承認いただけるだろうか。

北沢委員

まだ学校評議員としている学校はあるのか。

緑川学校教育課長

1校あり、傍陽小学校である。

○全員了承

(4) 浦里小学校及び川西小学校運営協議会委員の任命について（学校教育課）

○資料3-2により緑川学校教育課長説明（要旨）

浦里小学校運営協議会委員の任命については、上田市学校運営協議会第6条2項の規定により、浦里小学校運営協議会の委員を次のとおり任命したいというものである。委員の任期は1年で教育委員会が任命することとなっているのでお諮りするものである。また、資料の裏面には、川西小学校の学校運営協議会の任命を合わせてお願いしたいというものである。

峯村教育長

もともとコミュニティスクールの浦里小学校と川西小学校の任命である。

お認めいただけるだろうか。

○全員了承

3 報告事項

(1) 「学校における働き方改革推進のための基本方針」について（学校教育課）【説明なし】

○資料4

(2) 「いのち・愛・人権作品集 第16集」について（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料5

(3) 「ヒューマン上田 No. 34」について（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料6

(4) 行事共催等申請状況について（学校教育課 生涯学習・文化財課 ）【説明なし】

○資料7-1 7-2

(8) 子ども情報誌「YAっHOー!」 72号（生涯学習・文化財課）【説明なし】

○資料8

(9) 公民館だより（各公民館）【説明なし】

○資料9

峯村教育長

それでは、報告事項に入る。

(2) から (9) までご説明はないが、ご覧いただいてご意見ご質問等お出しいただきたい。

大久保委員

上田市学校等人権同和教育の実践の冊子を拝見させていただいたが、それぞれ考えた人権教育、実践事例を授業で取り上げていただいたので、ぜひ、実際の学校の現状にも当てはめられること、そういった何か問題があれば解決できるような方向で考えていただきたい。

峯村教育長

ご要望ということではよろしか。

大久保委員

了承。

峯村教育長

ほかにはいかがか。

北沢委員

全く関係ないことで一言お願いしたい。

コロナの対応で上田市教育委員会は分散登校ではなくて、それ以外の方法で対応したことは非常によかったと思う。それぞれの学校で創意工夫し短縮授業、給食を食べての下校等、いろいろな方法で対応していただいた。今後もその方向でぜひ進めていただきたいと思う。よろしくお願いしたい。

峯村教育長

ありがたいことに、小中学校でクラスターは発生していない。1つ大きなことは、保護者の皆様のご理解が大変ありがたく、家族内で体調を崩した方がおいでになる家庭の子どもは、学校を休ませるということを徹底していただいたおかげで感染拡大を防ぐことができている。そうはいってもどうしても家族内感染があつて、学級閉鎖等があるわけだが、学級閉鎖、学校の臨時休業等で何とかしのいでいきたい。分散登校は子どもたちの生活リズムを崩すので避けていきたい。給食を提供することによって保護者負担も軽減するので大事に考えていきたい。

そのほかの報告事項についてはよろしいか。

○全員了承

4 その他

職員あいさつ

峯村教育長

それでは以上をもって3月の定例会を終了する。

全員了承

閉 会

